

社会福祉法人 松寿会 ●香川県坂出市

環境に配慮し、高齢者のための総合福祉エリアの完成を目指す

【贈呈理由】 環境に配慮した業務用ヒートポンプ給湯機を複数施設に導入し、大幅な省エネルギーを実現



松寿会 松ヶ浦荘



業務用ヒートポンプ給湯機

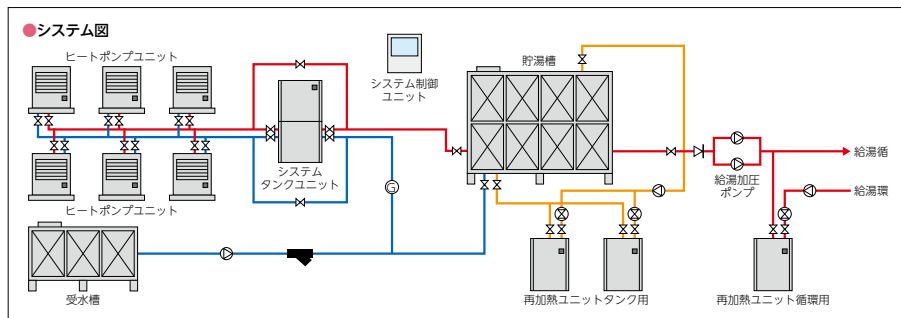
夜間運転のみで給湯をまかない、さらにコスト低減を実現

また貯湯槽を大きくすることにより、昼間運転を行わない夜間蓄熱運転のみで給湯使用をまかなうことができ、さらなるランニングコストの低減が実現した。加えて、各施設で環境負荷の低減に意欲的に取り組んでいることもあり、大幅にCO₂排出削減が見込めるという点も大きな決め手となった。

松寿会では、今後も環境に配慮しながら、高齢者にとって、安全で生きがいを持って生活できる総合福祉エリア「松寿のさと」の完成を目指して取り組んでいく方針である。

社会福祉法人松寿会は、1987年12月に「利用者と職員の幸福(しあわせ)を追求し、地域と共に歩む」という理念の下に設立された。穏やかな瀬戸内海と、なだらかな五色台連峰に囲まれた広大なエリアを「松寿のさと」と命名し、まず88年に、特別養護老人ホーム松ヶ浦荘が誕生した。96年には介護老人保健施設松寿荘、続いて2000年には、ケアハウス俊幸(としこう)が開設された。その後も06年に坂出市王越町に小規模多機能型居宅介護支援事業所あつけしの家(12年10月に「松寿のさと」敷地内にオリーブの花として移転)、12年2月に認知症対応型共同生活介護グループホームみかんの花を開設し、現在まで次々と事業を拡大してきた。

朽化によるメンテナンスや故障修理の費用増加が懸念されたため、これらの課題解決に向けて最適な給湯システムを検討した結果、ランニングコストの低減が期待でき、メンテナンス性にも優れている業務用ヒートポンプ給湯機を採用することとなった。



大規模改修工事では給湯システムをリニューアル

松寿会では、96年の松寿荘開設時に蓄熱式電気床暖房を導入し、4年後にエコ・アイスminiを増設。11年、松ヶ浦荘の大規模改修工事にあたっては給湯システムをリニューアルした。

従来の重油ボイラシステムでは燃料価格高騰によるリスクが高いことおよび老

一次エネルギー消費量削減効果

今回採用 業務用ヒートポンプ給湯機

従来方式 重油ボイラ



(諸元) 厨房を除き、A重油使用実績より想定
一次エネルギー原単位
電気(昼間): 9.97MJ/kWh (※)
電気(夜間): 9.28MJ/kWh (※)

(※) 一次エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則(10年改正)

特別養護老人ホーム 松ヶ浦荘

所在地: 香川県坂出市大屋富町 3100-13
建築設計: 清和設計事務所
建築施工: 大成・明石特定建築工事共同企業体
蓄熱設備設計: 清和設計事務所
蓄熱設備施工: 株式会社 中讃西営業所
延床面積: 3,286㎡
竣工: 2012年(更新)

蓄熱設備概要

業務用ヒートポンプ給湯機 15kW × 6台(東芝キヤリア) 貯湯槽: 16㎡